

2025 年 11 月 17 日
日本空港ビルディング株式会社

東京都「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」Ⅰ期の実施事業者に決定



©Archer Aviation Inc.

日本空港ビルディング株式会社は、日本航空株式会社（以下「JAL」）を代表事業者とする 9 社で構成されるコンソーシアム（以下「当コンソーシアム」）*1の一員として、東京都の公募事業「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」Ⅰ期（以下「本プロジェクト」）の実施事業者に採択されました。

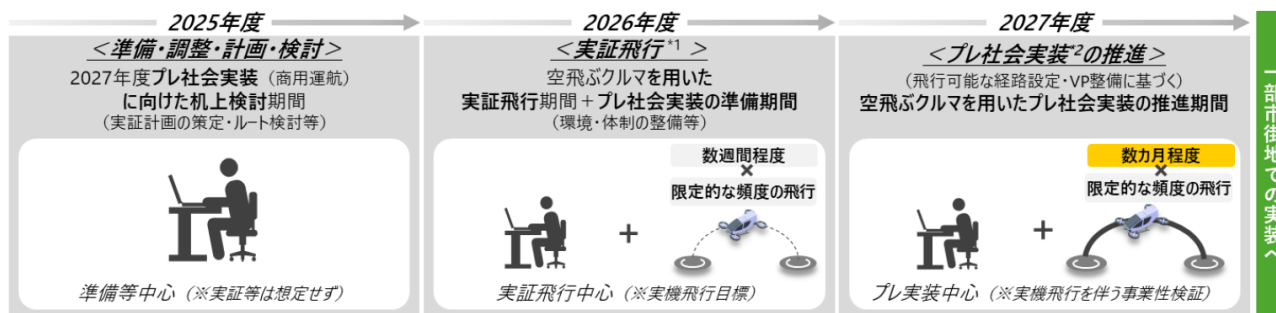
本プロジェクトは、東京都と事業者が連携し、次世代の移動手段である「空飛ぶクルマ(eVTOL)*2」の社会実装を目指すものです。東京都が目指す「2030 年の市街地での実装」に向けた重要なステップとして、官民での連携を一層強化し、東京の「空の移動革命」の実現を目指して取り組みを推進してまいります。

*1 9 社一覧 https://www.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/tosei/20251023_12_01a

*2 electric Vertical Take-Off and Landing（電動垂直離着陸機）電動モーターで複数の回転翼を回転させ、垂直離着陸できる小型航空機。

■本プロジェクトにおける取り組み

2025 年度からの 3 か年は、「準備・調整・計画・検討」、「実証飛行」、「プレ社会実装の推進」期間と位置づけ、当コンソーシアムと東京都が連携し、臨海部エリア・河川上エリア(空港へのアクセス想定)での飛行を目指します。また、運航環境の整備(離着陸場や拠点の確保・整備、管制・通信システムの調整など)、運航支援、評価・検証を実施することで、速やかな事業展開ができる体制構築にも取り組みます。



*1：当該年度における利用機体の TC 取得状況に応じて実証内容を決定する想定（離着陸のみ／近距離ルートにおける 2 地点間飛行等の試験飛行を含む）※耐空証明の取得は前提

*2：特に 27 年度等において、型式証明（Type Certificate：TC）取得機体及び航空運送事業許可（air operator's certificate：AOC）を取得し、商用運航につなげる取組

※引用元：「東京都「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」Ⅰ期 今後の想定スケジュール」

当社は、空飛ぶクルマ(eVTOL)の社会実装を見据え、空港を核とした羽田エリアの新たな価値創出を通じて、未来のモビリティ社会の実現に向け、当コンソーシアム一丸となって取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 事業開発推進本部 事業開発課 TEL：03-5757-8098 9:00-17:30（土日祝除く）